

作成日/令和 8 年 1 月 12 日

第13期第11 回温暖化・エネルギー一部会定例会議事録

■ 日時：2026 年 1 月 12 日(月) 13：00～15：00

■ 場所：前橋市市民活動支援センター 3 階 会議室

■ 出席者(敬称略)：20 名

畑元(高崎)、酒井(前橋)、国安(前橋)、富岡(前橋)、清水(高崎)、金田(高崎)、原田(高崎)、西村(前橋)、奈賀(高崎)、金子(伊勢崎)、横田(前橋)、武渕(前橋)、渡部(渋川)、六本木(前橋)、飯塚(前橋)、新井(みどり)、青木(伊勢崎)、松岡(渋川)、林(前橋)、本多(前橋)

書記:本多

1. 報告事項

(1) 環境フェスティバル(11/15)の参加結果(本多より)

- ・当協議会として初めて実施した「環境クイズ」と参加賞の配布が参加者に好評で、当ブースへの立ち寄り者は、約 150 名であった。
- ・実行委員 6 名と当日応援者 2 名計 8 名で、クイズの説明等もスムーズに実施できた。
- ・当協議会会員の方のフェスティバル参加が少なかったことが課題である。

(2) 役員会、幹事会(12/17)の開催報告(本多より)

- ・協議会ロゴマークの使用について、別途役員会で協議し、使用方法を決定する。
- ・協議会会則の改訂を検討しているが、素案を発表した。出された幹事の意見を参考に改訂委員会で再協議し、次回 3 月の幹事会に上程する。次年度 5 月開催予定の総会で決定するスケジュールで進めている。

2. 協議事項

- 次年度の当部会の活動計画(案) ～別紙資料のとおり～
 - ・別紙資料に基づき、概要を説明した。
 - ・今後、再度部会員からの意見聴取を行い、3 月予定の定例会で議論し、活動内容を決定する。

3. 講演

- 演題 「群馬県における太陽光発電の推進状況と今時の課題(環境保全との兼ね合いを含めて)」
- 講師 群馬県グリーンイノベーション推進課 主任 佐藤央佳 氏

- ・再生可能エネルギーの導入計画と進捗状況及び太陽光発電の取り組みや今後の課題等について説明があった。

2024 年度での再エネ目標 69 億 kW に対して 67 億 kW となり、▲2 億 kW の未達であった。

- ・2035 年目標は大きな数字となっており、今後、施策の実効性が問われることとなる。特に太陽光発電は、2030 年 43 億 kW から 2035 年には 80 億 kW まで増やす計画となっており、ペロブスカイト太陽光電池の普及拡大を含め、野心的な施策の展開が必要となる。
- ・太陽光発電の課題として、パネルリサイクルの問題や森林の乱開発の問題もある。
- ・その他、再生可能エネルギーの可能性として、小水力発電やバイオマス発電に関しても注力していく必要のある分野である。さらに、地熱・温泉熱を活用したバイナリー発電に関しても意見交換できた。

4. その他

- ・3/7(土)公共交通実証ツアーとして、「渡良瀬遊水地見学ツアー」を予定している。
後日、金子さん、奈賀さんから参加募集の案内がある予定。(金子さん)
- ・赤城山地熱発電調査は、東電から開発断念の連絡があった。(清水さん)
- ・部会員の活動紹介として、遠藤さんから「水素の利活用」に関する発表を来年 5 月の定例会で行っていただく予定。(本多)
- ・次回の 3 月定例会では、次年度の活動計画の検討を予定している。(本多)

■ 次回定例会の予定

日時：2026 年 3 月 15 日（日） 10：00～12：00

場所：前橋市市民活動支援センター 3 階 会議室

内容：次年度の部会活動計画(案)の検討（部会としてどんな活動をしたいか、意見を持ち寄ってください）

以上